

# 見習い占い師 「ちいちゃん」

番外編



吉高 雅美

## お仕事

---

テクテクてくてくテクテク

てく てく テク テク

テテテテテ

ぴくぴちゅ

ぷちん

ぱか

じゃらジャラ

じゃら

がちゃガチャ

きゅしゅ

くくくく

ぎゅうううう

が、ボタン

タタタタタタ

「あらあら、ちいちゃん。お帰りなさいぐらい言いなさい」

バタ、ドタ、しゅるしゅる

しゅるしゅる、きゅっきゅ

パタ、パタ、しゅるしゅる、ばふう

ドタ、パコン、がさごそ

タタタタタタ

「何か少し食べてから行きなさい、また、遅くなるんでしょ」

タタタ、テケケ、テテ

ぎゅしゅう、ダン

ザザザザ、てくてく、テクテク

てくてく

テクテク

てくてく

テクテク

てく

テク

テク

テク

がーわいーぜー

じゅーじじ、ぶほ、ざわざわ

たんたんたん

ぱたすす

ざっーすーーぽ

さっ

てくて

ぼーがたごときぎぎぎ

だん、きほーふ

たんたん

ぽふ

ぎほーふい

ぴぴー

がたん

ごとな

がたん

ごとな

ごごごご

がたん  
ごとん

ごごごご

ぎいー  
ごごご  
だん

とこトコと  
コトコト

タタタタ、ころコロ

タカタカ、ゴロゴロ

タタタタタ、ころころ

ざっーすーーぽ  
さっ  
てくて

てててて

がやぎゃわ、ザザー  
コツコツ  
ががわーっががー  
コツコツ

ささ  
ぱふう  
たた、ひゅう  
ぱほ、たくたく  
ぷん、ぽんたた

ぴゅいん

ぱんぱん

「黙って座ればペタペタ当たる  
恋の悩みも仕事のことも……」

## 師匠が来た

---

「あっ師匠」

ちいちゃん、あんたさー

誕生日、変えた！

「はい、師匠」

占い師なんだから、誕生日変えないとだめだよ  
ライバルの占い師に、本当の誕生日ばれたら

どーするの

ほら、そこの、ソバカス

誕生日変えるの遅かったからよ、きっと  
言ったことは、ちゃんと守りなさい

「はい、師匠」

今じゃすぐ、さらし者だよー  
本人特定されて  
日常、普通の生活

なくなっちゃうんだから

だいたい、本名って  
そこが、ダメダメじゃん

ちいちゃん、止めなさい

「はい、師匠」

ちいちゃん改め、ちいちゃんってことね

「はい、師匠」

まさか、改名したのが、本名だとは  
だ一れも  
気付かないよ

「はい、師匠」

こら  
そこは、さすが師匠、でしょ

「はい、師匠」

ほら、言ってごらん

まさか、改名したのが、本名だとは  
だ一れも  
気付かないよ

「ちゃちゅがでしゅう」

アレンジするんじゃない！

「はい、師匠」

指見るな  
ネイル、サボってるんでしょ

「はい、師匠」

肯定してどーする

もう、あんたはね  
今日から

血液型は、キツネだから

「はい、師匠」

タヌキの血液輸血しちゃだめよ

「はい、師匠」

だって、タヌキは食べられちゃうからねー  
ヒツジも牛も馬もだめだからねー  
だって

食べられちゃうから

「はい、師匠」

よし、今日はここまで  
今度は、出身地変えなさいねー

どこがいいかな  
うーん

金星がいいかな  
よし  
ちいちゃん、金星生まれね  
分かった

「はい、師匠」



ちいちゃんは思った

---

この、プレッシャーは、そして  
ねこぜで  
よぼとよことこと歩き  
そして、この  
香り  
目を合わせちゃだめ  
目が合うと、怒っちゃうから

「あっ師匠」

完璧、上手く行ったかな、ちゃんと  
ちゃんと、聞こえたかな  
喜んでる感じに

『ちいちゃん、あんたさー、誕生日、変えた！』

変えるって、誕生日どーやって変えるー

「はい、師匠」

『占い師なんだから、誕生日変えないとだめだよ、ライバルの占い師に、本当の誕生日ばれたら  
、どーするの、ほら、そこの、ソバカス、誕生日変えるの遅かったからよ、きっと、言ったこ  
とは、ちゃんと守りなさい』

占い師と誕生日って関係あるんだー  
ソバカス数えるのかよ  
誕生日のせいなの  
そーいえば、  
中村さんの赤ちゃん  
うちと誕生日  
一日しか変わらないのに

ソバカスない  
すごいねー師匠は  
何でも知ってるねー

「はい、師匠」

『今じゃすぐ、さらし者だよー、本人特定されて、日常、普通の生活、なくなっちゃうんだから、だいたい、本名って、そこが、ダメダメじゃん、ちいちゃん、止めなさい』

さらし者って、水？

うち、お風呂入るから

さらし者

って、皆、さらし者じゃん

ここで、水で10分さらします

ムリー

お風呂10分も入っていたら

のぼせちゃう

ダメダメなんだ

でも

ちいちゃんって

本名違うし

あだな？ っていうのか

そう

呼ばれているだけで

「はい、師匠」

『ちいちゃん改め、ちいちゃんってことね』

誰だー

「はい、師匠」

『まさか、改名したのが、本名だとは、だーれも、気付かないよ』

どーやって気付くー

だれ

どこ

どこの誰に隠してる

ちいちゃんの名前

って

名前じゃないし

「はい、師匠」

『こら、そこは、さすが師匠、でしょ』

さすが

刺す蛾

痛たそー

せめて、蟻にして

蟻が有り

「はい、師匠」

『ほら、言ってごらん、まさか、改名したのが、本名だとは、だーれも、気付かないよ』

練習かよ

今

いま練習するの

上手く言った方がいいのかな

なんか

なんか工夫した方がいいのかな

「ちゃちゅがでしゅう」

『アレンジするんじゃない！』

これだ

「はい、師匠」

『指見るな、ネイル、サボってるんでしょ』

どーして気付くかな

ああ

そこか

薬指、飛ばして、小指に描いちゃってるし

「はい、師匠」

『肯定してどーする、もう、あんたはね、今日から、血液型は、キツネだから』

えー

ねこ、ねこがいいのに  
シヨクシヨクといっしょが  
いいのに  
キツネ見たことないし

来たキツネって  
変な名前じゃん  
居たキツネとかもいるのかな

「はい、師匠」

『タヌキの血液輸血しちゃだめよ』

輸血するのかよ  
キツネにタヌキ輸血したら  
バンパイヤと狼男の混血になるのかな  
太陽見ても  
アッシュしない  
バンパイア  
最強ジャン  
って、ああ  
キツネとタヌキか

「はい、師匠」

『だって、タヌキは食べられちゃうからねー、ヒツジも牛も馬もだめだからねー、だって、食べられちゃうから』

そこ

そこなの  
食べられちゃうから  
そこなの

師匠  
タヌキ食べたの？

「はい、師匠」

『よし、今日はここまで、今度は、出身地変えなさいねー、どこがいいかな、うーん、金星がいいかな、よし、ちいちゃん、金星生まれね、分かった』

どこ、どこ  
金星って何区？  
住所、金星  
どこまで、どこまで  
何条何丁目  
番地どこ

「はい、師匠」

ああ  
満足して帰っちゃう  
師匠  
意味不明ですう

ああ  
行っちゃった

師匠はいつも謎を残して去っていくねー  
かっくいい

うちも早く  
師匠みたいになりたよー

## 見習い占い師「ちいちゃん」番外編

<http://p.booklog.jp/book/42119>

著者：吉高 雅美

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yositakamasami/profile>

ブログ：<http://blog.goo.ne.jp/pengincat>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/42119>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/42119>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.